

A・・・よくできた B・・・できた C・・・あまりできなかった D・・・できなかった

評価基準 A>=4.0 B>=3.0 C>=2.0 D<2.0

領域	評価の観点	評価項目	実践目標と成果等			平均	評価	昨年	評議員欄
学校教育目標	校訓を基軸として社会の変化に主体的に対応できる、こころ豊かな個性ある人間の育成	重点目標	生徒と教職員にとって 明るく 楽しい 活力のある 学校づくりを行う。						
学校運営	開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信	1	実践目標	学校のホームページ、ブログ、パンフレットを通じて、学校の情報を可能な限り公表する。	4.2	A	4.6	A
		広報活動の推進	2	実践目標	オープンハイスクール、中学校訪問、学校説明会、文化祭、体育大会など開かれた学校作りを進める。	3.9	B	4.3	
		学校評議員制度の活用	3	実践目標	学校評議員会を複数回実施し、学校運営に反映させる。	3.8	B	3.5	
	新しい取組	社会の変化に対する主体的な対応	4	実践目標	グローバル化、情報化が進む社会の変化に対応し、主体的な取組を行う。	3.6	B	3.7	A
		生徒指導	生徒指導方針の確認と推進	5	実践目標	生徒指導方針の確認と指導体制の充実を図り、共通理解に基づく生徒指導を推進する。	3.2	B	3.5
	生徒指導の充実		6	実践目標	挨拶、ベル着、頭髪、制服等の指導を徹底する。	3.5	B	3.7	
			7	実践目標	自転車通学時のマナー指導、遅刻指導を徹底する。	3.8	B	3.6	
			8	実践目標	個人面談・各種調査を通して生徒理解を図るとともに、家庭への連絡や家庭訪問等を通して家庭との連携を図る。いじめ防止に学校全体で取り組む。	3.9	B	3.9	
	9		実践目標	文化祭、体育大会、球技大会を通して、生徒の自主・自律を育む。	3.9	B	3.6		
	10	実践目標	部活動への活発な参加と、安全指導・救急対応の適切な実施等を通して部活動の充実に努める。	3.9	B	3.9			
	進路指導	進路指導体制の充実	11	実践目標	進路に関する情報提供を適切に行う。	3.6	B	4.0	A
			12	実践目標	模試の回数・内容を適切なものにし、面談等を通して自己実現を図る指導を行う。	3.9	B	4.0	
			13	実践目標	進路室・閲覧室を充実させ、進路指導計画、補習・小論文指導の実施内容を適切なものにする。	3.7	B	4.0	
	教職員の質の向上	実践的指導力の向上	14	実践目標	各教員が実践的指導力の向上に努めるべく、公開授業や研究授業を活用する。	3.7	B	3.3	B
	危機管理体制の整備	学校マニュアルの策定	15	実践目標	危機管理マニュアルに基づいて、施設の安全点検や避難訓練や防災研修会等を行い、危機管理意識の向上を図る。	4.1	A	4.0	A
	学校運営	学校運営全般	16	実践目標	生徒会役員・学級委員を活用し、全校集会や式典を適切に実施する。	4.0	A	3.7	A
		PTCA活動	17	実践目標	PTA、地域と学校の連携を円滑にする。	3.9	B	3.8	
		教育目標・経営方針の共有	18	実践目標	教育目標、学校経営、各年次・各部の目標の周知と理解を図る。	3.8	B	3.7	
		機動的な校務分掌	19	実践目標	校務運営委員会、職員会議を適切に運営し、職員のアイデアを生かす。	3.7	B	3.8	
	校内環境と保健	校内環境と保健	20	実践目標	掃除・大掃除・大緑化作業等を適切に実施する。	4.2	A	4.3	A
21			実践目標	カウンセラーと連携し、教育相談やケアを実施する。また保健室を適切に整備する。	4.2	A	4.3		
22			実践目標	心身ともに健康であるための正しい知識を身につけさせ、保健HRの内容を適切なものにする。	4.1	A	4.0		
教育課程	教育課程	指導方法の工夫	23	実践目標	多様な選択科目を用意し、科目選択の指導を適切に行うとともに、基本的な学習習慣が身につく指導をする。	4.1	A	4.1	A
		学力向上の推進	24	実践目標	特別非常勤講師制度の活用やインスパイア・ハイスクール等の成果を継続的に活用し、確かな学力を向上させる。	4.0	A	4.1	
		授業の年間計画	25	実践目標	年間計画に沿って計画的に授業を行い、授業時数の確保に努める。	4.1	B	3.8	
		指導形態の工夫	26	実践目標	英語・数学等で習熟度別授業等を実施し、個に応じた指導や成績不振者への指導を適切に行う。	4.2	A	4.0	
課題教育	課題教育	他国の歴史や文化の理解	27	実践目標	国際交流事業や授業を通して異文化理解を推進する。	3.9	B	3.4	A
		教職員の協働体制の確立	28	実践目標	「産社」「総学」「課研」の内容を充実させ、探究活動やその成果の表現技術を高める。	4.2	A	4.2	
		学校行事	29	実践目標	1年次野外活動、2年次修学旅行等の学校行事を適切に計画し、実施する。	4.0	A		
		人権教育の充実	30	実践目標	人権HRと人権講演会を適切に実施し、人権尊重の精神を醸成する。	3.9	B	3.8	
		情報モラルの育成	31	実践目標	生徒の情報モラルやマナーを向上させ、情報社会に潜む危険性について指導する。	3.9	B	3.8	
学校独自項目	総務部	32	実践目標	適切な年間行事予定を立案する。	4.2	A		A	
	教務部	33	実践目標	興味・関心・進路志向に対応した教育課程を編成する。	4.2	A	3.9	A	
	生徒部	34	実践目標	生徒の基本的な生活習慣の確立に意欲的に取り組む。	4.1	A	3.8	A	
		35	実践目標	生徒会・各種委員会の活性化を図る。	4.7	A	3.7		
	進路部	36	実践目標	進路情報を的確に分析し、進路指導を充実させる。	3.7	B	3.9	A	
	保健部	37	実践目標	学校環境を整備し、望ましい教育環境を作る。	4.1	A	4.1	A	
		38	実践目標	定期健康診断の事後措置の徹底を図る。	4.2	A	4.3		
	図書部	39	実践目標	図書室を整備し、生徒が利用しやすいように運営する。	4.3	A	4.1	A	
	推進部	40	実践目標	ホームページ・ブログの内容の充実を図る。	4.1	A	4.3	A	
		41	実践目標	オープンハイスクール、学校説明会等の広報活動を促進する。	4.2	A	4.4		
	1年次	42	実践目標	学力向上に対する取組(補習、個別指導、模試の実施と事後指導等)を適切に行う。	4.1	A	4.1	A	
		43	実践目標	生徒指導方針を明確にし、家庭との連携を図る。	4.1	A	4.1		
		44	実践目標	「産業社会と人間」の内容を充実させ、職員が協力して進路指導に取り組む。	4.3	A	4.3		
	2年次	45	実践目標	学力向上に対する取組(補習、個別指導、模試の実施と事後指導等)を適切に行う。	4.2	A	4.2	A	
		46	実践目標	生徒指導方針を明確にし、家庭との連携を図る。	4.0	A	4.2		
		47	実践目標	「総合学習」の内容を充実させ、職員が協力して進路指導に取り組む。	4.1	A	4.1		
	3年次	48	実践目標	学力向上に対する取組(補習、個別指導、模試の実施と事後指導等)を適切に行う。	4.1	A	4.3	A	
49		実践目標	生徒指導方針を明確にし、家庭との連携を図る。	4.1	A	4.2			
50		実践目標	「課題研究」の内容を充実させ、職員が協力して進路指導に取り組む。	4.1	A	4.2			

学校評議員評価

コロナの問題で思う通りに教育活動が進めにくい中、教員・生徒のみならずさまざまな事柄に対して積極的に取り組んでおられ、良好な学校運営ができてきていると思います。2022年度より新教育課程となり、新たな課題が生まれ、それを解決していかなければならないかと思いますが、教員・生徒がひとつとなって取り組んでいただきたい

コロナ禍での学校教育活動は大変だったと思います。あらためてご苦労に感謝いたします。22年度の生徒は1年から3年まで、コロナの影響を受けた子どもたちです。よく言われている、マスクをしている顔しか知らない世代の子たちです。この2年の振り返りをしっかりと行い、できなかったこと、よかったこと、反省点など総括し、新しい取り組み、改善し継続する活動、これまで通り実施するなどアフターコロナ、ウィズコロナで全員が充実する学校活動となるよう活かしてほしいと思います。

今年度も、コロナ禍の影響を大きく受け、学校教育現場でこそ経験できるはずの従来の実践が難しい中、校長先生、教頭先生、先生方々、生徒が共に「できない」とするのではなく「できるためには」と様々な取り組み方を考慮し、積極的に実施し充実した学校生活を生徒の皆さんは体験できたと思います。開かれた学校で魅力ある学校です、コロナ禍で多人数が一堂に会することができず広報も難しい今年度でしたが、来年度以降は現役中学生が自分の将来を見据えて、伊丹北高等学校を進路希望先と選択してもらうためにも、魅力ある学校生活を周知してもらえる広報の方法が課題となりますね。

コロナか禍で今まで通りには行かない中、生徒のさらなる育成にご尽力頂きまして大変有難く思っています。有難うございます。それぞれの指導にあたっては、申し分なくよくできたというAの評価をさせて頂きましたが、生徒指導のルールの統一など学年を超えて3学年での情報共有をとって頂きたいと思っております。また、この社会情勢を踏まえながらさらなる学校運営を先生方のお知恵で充実して頂けるよう希望を込めてB評価とさせて頂きました。1年間お疲れさまでした。

校長先生、教頭先生の御指導の下、進学を中心に置いた特色ある総合学科に向けた多くの取り組みが拝見できました。特に週32時間の教育課程の見直し、英語・数学での習熟度別編成授業をはじめとする生徒一人ひとりを大切に、その個性能力を伸ばし、進路実現につなぐことを「産業社会と人間」等をうまく活かし、総合学科のメリットを十分に活用されていると思います。来年度は観点別評価をうまく導入されて、今までの取り組みを更に発展されることを期待しております。